

町制施行 50周年記念

只見町子ども議会

7月15日、只見町役場議場において子ども議会が行われました。会議は町議会の一般質問と同方式で運営され、子ども議員として各小学校から6年生が3名、中学校から3年生が4名の全13名が出席しました。町当局も目黒町長はじめ町議会同様に関係者が出席しました。議会議長は只見中学校の三瓶志門さんが務めました。子ども議員12名の一般質問は次のとおりです。

問（1番 吉津千晶さん）

①ブナのことについて学ぶ施設やイベントがもっとあればよいと思うのですが、何か計画はありませんか。それを元に観光客を増やし、只見町のよさを町外の人にも分かってもらうきっかけにもなると思います。町長の考えをお聞かせ下さい。

②若者が只見町に残れる工夫としては。例えば、工場をもつとよんだり、お店をたくさん建てるなど、町長の考えをお聞かせ下さい。

答（目黒町長）

①好きな時にブナについて学べるように、今年の10月3日に「ブナと川のミュージアム」がオープンいたします。ぜひ見に来てください。ブナの木とそれを取りまく只見町の自然について展示しますので、館内を歩いてたくさんのお話を勉強してもらったり、もつとくわしく知りたいと思つたことが調べたりできるように資料室も準備いたします。

②一番大きな理由は働くところがないことだと思つております。もつと他に町内に来てくれる企業がないか探したり、お願ひしたりしています。生まれ育つた土地で働いて、お父さんやお母さんと一緒に暮らせるように、働く場所が出来るように力を入れていきたいと思つております。

また、町内に元々ある資源を有効活用して、生活していけるような仕組みづくりにも、力を入れていきたいと思つております。

問（2番 大竹羽未さん）

①各地区にいつでも使える楽しい施設があれば、子ども達が集まり、楽しい時間を過ごせると思ひますが、考えをお聞かせ下さい。

②町には国道289号線が通つていますが、車での移動にとつても時間がかかります。ぜひ只見町に高速道路を造つてほしいと思ひますが、考えをお聞かせ下さい。

答（目黒町長）

①「地区センター」になります。積極的に出かけて欲しいと思ひます。図書室もあります。地区センターに「こんなものがあつたら、こんなことができたらいいな」と思ふものがあつたら、職員の方に言つてください。

②色々な問題で只見町に高速道路を造る事は難しい事ですが、安全に通行できるように観光客も安心して訪れることが出来るよう国道289号線の改良工事に努力していきます。

問（3番 須佐萌さん）

①下福井地区や長浜、荒島地区に対して、スクールバスを年間

を通して運行してもらえないか。予算の問題もあると思うので、有料でも構わないと思つていま

す。考えを教えてください。

②只見のブナは世界遺産である白神山地よりも広大、このブナ

林を守りつつ観光資源として活用できないかと考え、まずは姉妹都市である千葉県柏市から観光客をよぶために、PR活動をすべきと思つています。計画はあるのでしょうか。

答（目黒町長）

①スクールバスの利用ができるのは通学距離が小学校で2km以上、中学校で3km以上の児童生徒です。バスの台数と運転手の人数を考慮し運行方法を考えています。しかし児童生徒の運動不足が指摘されています。徒歩通学を通じて、歩く事の大切さも学んで頂ければと思ひます。

②只見のブナの素晴らしさは、国内最大規模の8万3千haが森林生態系保護地域として指定、その内4万haが只見町分です。比較的簡単に行ける只見のブナ散策マップを作成し、皆さんの学習活動でも行けるように整備をしております。ブナ林に入る心構えは、自然インストラクターの案内で入るように、ブナセンターでは考えております。自然保護と交流や活性化は、調和を保ちながら行うよう配慮して

進めて参ります。

問（4番 吉津愛さん）

①町を県内や全国の人に知ってもらうために、大きなシンボルを作つてほしいと思ひます。町で自慢できるものには、ブナ林や雪などがあります。それらを生かしたシンボルを作れば、有名になり観光客が訪れると思ひますが、お考えをお聞かせ下さい。

②町でも高齢化が進み、老人の数が増えています。そのため、老人ホームを増やす必要があると思ひます。老人の知識は、町の発展にも役立てることが出来ると思ひます。お考えをお聞かせ下さい。

③朝、昼、夕方の音楽は、決まってきた音楽のように聞こえます。他に町にあつた音楽に変えてはどうでしょうか。

答（目黒町長）

①「ブナ」や「雪」は只見町のイメージをわかりやすく表すものです。雪の町の雰囲気を感じることができ観光客の増加に役立つのではないかと感じますので、考えてみたいと思ひます。

②今、高齢者施設などの施設介護から地域、家庭で支えていくという社会の流れになつていきます。高齢者の方々の知識と経験は大切な財産であると思ひま

す。地域において高齢者の方々の支援や生きがいづくりを進めていくためには、私たちみんなが家庭、地域においてお年寄りを大切に、それぞれ役割を担って共に支えあっているように心がけることが大事と考えます。

③朝と昼と夕方の決まった時間に音楽を流しています。これは、災害が発生したいざと言う時に音が聞こえるか確認するため毎日流しています。子どもの声とか、町の歌にすれば、興味を持つていただくことができます。良いアイディアだと思います。意見を聞いて考えてみたいと思います。

問 (5番 目黒大成さん)
小学生だけで川遊びに出かけたりにすることは出来ません。釣りをしても全然釣れないし、魚の数が少ないような気がします。川の魚を増やしたり、小学生だけで自由に行つて川遊びや魚釣りを思う存分楽しめる場所を町内に作ってもらえませんか。

答 (目黒町長)
元に戻るようには、魚がすみやすいような方法で、河川の改修を行なったり、外来魚や有害となる鳥類の駆除を実施しています。魚の数が増えるところまではいっていません。これからも

粘り強く続けていきたいと思えます。危険性が少なく子どもだけでも遊べる環境で、自然環境にもやさしい川を造ることができないか、考えていきたいと思えます。みなさんが、自然に親しんで、遊べる場所も、最優先的に考えていかなければならぬと思っております。

問 (6番 柳下朝実さん)
①町は65才以上のお年寄りの方の生活をどのように考えていますか？また、家をバリアフリーにするとき町から補助金が出るのでしょうか？
②勉強をする施設を兼ねた図書館があれば学力向上に役立つと思います。高校生などと教え合うことによつて、縦の繋がりも強くなり、町に愛着も深まると思います。考えを教えてください。

③町には街燈が少ないと思えます。特に、夜遅く自転車や下校している時に怖い思いをした事が何度かあります。考えを聞かせてください。

答 (目黒町長)
①お年寄りでも働ける仕事場作りや、冬でも安心して生活できる除雪体制の整備に努めています。家のバリアフリーは、国県や町からの助成の制度があります。

②学校図書の実用のため予算を配分し、新しい図書を揃えていますので、積極的に利用していただきたいと思えます。施設の整備、図書の購入には多額の費用と時間がかかりますので、計画を立て取り組んで行きたいと思えます。

③町は今年、8箇所設置を考えております。今後も地域の要望に応じ、計画的に設置していきたいと考えております。

問 (7番 馬場千歳さん)
①町の活性化のためにも、教育のための費用削減を見直すのはどうでしょうか？
②町は、学力向上のために何か考えたり、これからやろうと思つたりすることはありますか？
③只見の豊かな水を利用して小型水力発電を作り、ほりっこ発電としてそれを望む家庭に助成金を出し、只見をCO2削減の町として全国に発信するのはいかがでしょうか。考えをお聞かせください。

答 (目黒町長)
①町では「只見町行財政改革プログラム」という計画を作つて、限られたお金を町民の皆さんの為に有効に使うように努力しております。教育費についても金額の大きさだけにとらわれないお金の活かし方を考えていき

いと考えています。皆さんも、物を大事にして節約に努め、既にある物を大切にすることを改めて考えてみてください。

②最終的には児童生徒の皆さんの自覚であり、学校での勉強だけでなく家庭での努力が重要なことと思えます。日々の積み重ねが、やがて大輪の花を咲かせようように取り組んで頂きたいと思えます。

③小型水力発電については、実用化にあたってはメリット、デメリットもあると予想されますが、水の郷只見として考えてみなければならぬ事と思えます。若い世代の方々とともに取り組んでまいりたいと思えます。

問 (8番 本名奈菜さん)
①私の家の裏山には粗大ゴミがたくさん捨ててあります。町では、今後それについて対策などが出されるのでしょうか。対策は現在行なわれているのでしょうか。
②水の郷只見町、ブナの森が有名な町、と言いつつ、それを強調できていないと思えます。噴水やいろいろな木を使った芸術的なものを作ってみました。どうでしょうか。
③空き家がとも増えたような気がします。町からもつと声を掛ければ、少なくなるのではな

いでしようか。
答 (目黒町長)
①ゴミを捨てる事は、法律で禁止されています。粗大ゴミを発見した場合は、持ち主が分かれば本人に片付けてもらい、持ち主が不明な時は、町で処分しなければいけないと思えます。ゴミを捨ててはいけません、ということが一人ひとりが認識することが一番大切だと思えます。

②平成19年7月27日に自然首都「只見」を宣言して、只見の自然の素晴らしさを世界へ発信しました。また、世界ブナサミットを開催、全国にも只見のブナを発信した所です。芸術的なものや世界へ発信できる情報など、柔軟な発想で地域づくりを進める体制を整備しております。ここを訪れる人にとつて、健康を実感していただけるおもてなしが出来る地域にすることが大切と思っております。色々な方々の提案を聞き取っていきたいと思えます。

③町でも対策を講じる為に「空き家実態調査」を行いました。近年、都市部から田舎で暮らしたいという方々が見えます。この橋渡しとして住居や農地の対策などを町が応援する体制を取っております。今後空き家も地域資源として捉えて、活用できることを取り組んでいき

たいと思っております。

問(9番 菅家いつみさん)

①2年前に中学校が統合したのですが、なぜ統合したのでか。そして小学校の統合の予定は今のところないのでしょうか。小学校は統合しないほうがいいと思います。理由は朝日小以外の2校は校舎が建ったばかりで、新しく、数十年は使えると思うからです。2つ目は通学や人間関係の問題です。中学校では遠い人で30分位の時間がかかっている。また、3つの小学校があるほうが、深い友達関係が築けて大人になれると思うからです。考えをお聞かせください。

②八十里越の道路はいつ開通するのでしょいか？早く道路を作るとは只見町の活性化にもつながると思います。考えをお聞かせください。

答(目黒町長)

①生徒数が減少傾向にあること。統合により学級数が増加すると教員数が増え、専門的な指導が受けられ学力向上が期待できること。部活動においても部の種類が多くなり、運動部だけでなく文化部などもできました。町内三地区から生徒が集まり、幅広い人間関係が確立され生徒の活発化に繋がってきました。学校も一校となったことで、維持

管理費が軽減町の財政負担も軽減されました。このようなことで統合されました。小学校の統合は考えておりません。

②完成時期は、まだはつきりと決まっています。少なくとも10年以上はかかると思われると思います。町では、道路工事を行なっている国の機関へ、早期開通の働きかけを行なってきました、これからも取り組んで参りたいと考えております。

問(10番 三瓶梨菜さん)

①町には土、日ゆつくりと過ごすための大きな公園がないと思います。アスレチックや噴水のある公園ができれば、多くの人が集まり、楽しく休みを過ごせると思うので、作ってほしいのですが考えをお聞かせ下さい。

②町全体できれいな町づくり・自然にやさしい町づくりをするために、ゴミを減らすための運動が必要だと思います。考えをお聞かせ下さい。

答(目黒町長)

①各集落に公園がありますが、大きな公園ではありません。只見川公園の町下地内には、「只見川公園」があります。10月から「川

のもしり館」は、「ブナと川のミュージアム」としてリニューアルいたします。完成したら友達と見に来てください。

②ゴミを減らす運動として、地区センターでは住民の皆さんに呼びかけて「ちょボラ運動」でゴミを拾ったり、婦人会では、ごみを出さない工夫や再利用することを勉強しておられます。また、3R運動を進めています。これは「リデュース(減らす)、リユース(再び使う)、リサイクル(再資源化)」という意味です。一人一人が気をつけて、きれいな町づくりをしていきたいと思っています。

③公共施設にスロープや自動ドア、トイレ改修などバリアフリー化を進めてきました。また、県が行う歩道工事等も出来るだけフラット化しております。これからバリアフリー化に努力していきます。

問(11番 春日七海さん)

①子供達が安全に楽しく遊べる場所に遊具を増やしてください。

②土地を安く売るのでお店を開きませんかという働きかけをして、お店を誘致するような考えや、町内にあるお店などにみなが必要とするような物をおいたりするなどの考えはありませんか。

答(目黒町長)

①町の自然に触れ合うような遊び方もいっぱいあると思います。自分たちの中から見出して欲しいと思います。遊具の整備には時間とお金がかかりますので、実態を調査し必要があればと思っております。

②大型店などが地域に入ってくるには立地条件を考えなければなりません。ある一定の「消費人口」がないと商店の立地経営が成り立ちません。町の置かれている条件を改善することが、より良いふるさとづくりになると思います。国道改良や交流人口の拡大、資源を生かした産業おこしなど、地域の伝統を生かしてこそ町は発展すると思えます。

問(12番 新國優さん)

①各家庭でのゴミ燃やしは許可されていないという話を聞いたことがあります。だめなはずなのにやっている人がいると、困る人が出てくると思います。各家庭でのゴミ燃やしは今後も認めるのですか？具体的な取り組みを教えてください。

②捨てられているゴミを見ると残念な気持ちになります。そのようなゴミをなくすことについての今後の対策、取り組みについて聞かせてください。

答(目黒町長)

①ゴミを捨てることと燃やすことも禁止されています。一部にそのようなことがあることは、大変残念なことです。これから、きちんと分別して出してもらうよう、広報したり、お願いしていきたいと思えます。

②ポイ捨てやゴミを減らす事はきれいな町づくりをするために欠かせない事です。皆さんに気を付けてもらえるように運動していきたいと思えます。
(※再質問と答弁は省略)

